



# 相談室だより



2024年12月

今年は、過去にない気象状況でしたが、皇帝ダリアは例年のように青い空に凜として咲いています。12月、今年も最後の月となりいろいろなことを思い返しています。

12月の相談室だよりは、11月に亡くなられた詩人の谷川 俊太郎さんの代表作をみんなに届けたいと思い、ここに載せることにしました。92歳で生を終えるまで、まっすぐに言葉を愛し、自分を愛し、人を愛した現代詩人です。私はこの時期に咲く皇帝ダリアのような人だと思います。

## 『生きる』

谷川俊太郎

生きているということ　いま生きているということ  
それはのどがかわくということ　木もれ陽がまぶしいということ  
ふっと或るメロディを思い出すということ　くしゃみすること  
あなたと手をつなぐこと

生きているということ　いま生きているということ  
それはミニスカート　それはプラネタリウム  
それはヨハン・シュトラウス　それはピカソ  
それはアルプス　すべての美しいものに出会うということ  
そして　かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ　いま生きているということ  
泣けるということ　笑えるということ  
怒れるということ　自由ということ

生きているということ　いま生きているということ  
いま遠くで犬が吠えるということ　いま地球が廻っているということ  
いまだどこかで産声があがるとのこと　今どこかで兵士が傷つくということ  
いまぶんこがゆれているということ　いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ　いま生きているということ  
鳥ははばたくということ　海はとどろくということ  
かたつむりははうということ　人は愛するということ  
あなたの手のぬくみ　いのちということ

谷川さんが最後に作られた絵本、子どもたちの自殺を取り上げた絵本に私は衝撃を受けました。機会があればぜひ読んでみてください。この「生きる」という詩とともに、生きることを感じてみてください。

教育相談室では、学校生活での悩み、家庭での悩み、生活行動上の悩み、生活の中での不安など、解決の手助けができたらと思っています。誰かに話を聞いてもらえるだけで、心が軽くなります。どんなささいなことでも気軽に相談に来て下さい。

スクールライフアドバイザーの来校日　原則火曜日（12:00から18:00）

相談室は、本館1階進路指導室隣

スクールライフアドバイザー　小松 泰子